

心づくり・体づくり部会の取組

1. 心づくり・体づくり部会の取組

自分や他者とつながる。

- 子どもを多面的に見て、気付きを指導や支援につなげる。児童理解（年3回全体、週1回終礼時）
- 「心げんきかな」アンケートを毎月行い、いじめや不登校の早期発見と未然防止を図る。
- 年2回の「おやくそく10」を実施し、基本的生活習慣の定着を図る。
- 人権教育の推進
- 運動習慣付けの推進（全学年体力テスト実施）
- 保健指導の充実

2. 道徳教育の重点目標と各学年の取組

1年生

道徳教育の重点項目

約束やきまりを守り、周りの人やもの、時間を大切に作る。（規則の尊重）

学年・学級づくりに広げる取組

- ① 朝の会
 - ・児童の実態に合わせて、生活目標を具現化できる活動に取り組ませる。
- ② 帰りの会
 - ・一日を振り返り、自分の頑張りを褒めたり、明日頑張りたいことを考えたりする時間を設ける。
- ③ 道徳科の時間を中心に
 - ・「ふわふわことばとちくちくことば」を題材に言葉による優しいつながりについて学習し、ふわふわ言葉を掲示して、普段から意識させる。
- ④ 学級活動
 - ・学級の中でつながりを楽しむ「みんなタイム」や「おたんじょう会」を設け、児童が自分たちで計画・準備して、心豊かな時間を楽しませる。
- ⑤ 学年
 - ・学年としての仲間意識を培うために、学習活動や休み時間に学級を解いて共に過ごしたり、同じ目標に向かって挑戦する企画を考えたりする。

2年生

道徳教育の重点目標

友達となかよく助け合っていこうとする態度を育てる（友情・信頼）

学年・学級づくりに広げる取組

① 道徳科

・道徳の友情・信頼に関する授業では、友達と一緒に活動して楽しかったことや友達と助け合っ
てよかったことを振り返り、友達のよさを感じ、友達となかよくしていこうとする態度を育て
る。

② 学級活動

・グループで計画、準備をし、お誕生日会を月1回程度行う。お誕生日カードに友達のよいとこ
ろを書いて渡したりゲームやインタビューをしたりして、なかよく過ごせるようにする。

③ その他

・各教科では、グループ活動を取り入れて、協力して準備や練習を行い、助け合うことの大切さ
が実感できるようにする。また、友達のよいところを感じたり、困っている友達のことを思い
やったりして、優しく助け合うことができるようにする。

・帰りの会で「今日のきらりさん」を伝え合う時間を設け、友達の思いやりのある行動や頑張り
を褒めることで、友達のよさを認め合うことができるようにする。

3年生

道徳教育の重点目標

友達のことをよく考えて、友達を大切にしようとする。（友情、信頼）

学年・学級づくりに広げる取組

① 学級活動

・学級活動を通して、定期的にお楽しみ会を行い、学級全員が楽しめる企画を考えたり、友達のこ
とを考えて行動したりするなど児童が主体的となって活動できる取組を行う。

② 朝の会

・朝のスピーチを継続して行い、友達の発表をよく聞くことや、話を広げるための質問を積極的に
することなどの指導を通して、安心して発表できる学級づくりに努める。

③ 総合的な学習の時間

・普段の給食において、嫌いな食べ物があると手を付けずに残してしまう児童が見られる。総合的
な学習の時間を通して食べ物の大切さを学び、食べ物の好き嫌いをせず、正しい判断を選択で
きるように指導する。

④ その他

・よいことをしたときや頑張った行動をしたときには、具体的にどこがよかったかを伝え褒める。
また、物事に取り組む姿勢などを積極的に見付け、褒める。

4年生

道徳教育の重点目標

自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、相手のことを理解し、自分の異なる意見も大切にすること。(相互理解・寛容)

学年・学級づくりに広げる取組

① 総合的な学習の時間

・「つくろう みんなにやさしい町」というテーマをもとに福祉について考える学習を通して、自分だけではなく様々な立場の人たちのことを知り、自分の考えや友達の考えを伝え合うことで、相手の立場に立ってよりよい町について考えさせられるようにする。

② 学級づくり

・児童が計画・活動できる場を設定し、全員で考えを伝え合い、練り合わせる活動を通して自主的に互いに協力できるように促す。また、活動後振り返りをするなどして、達成感や次への活動の目標や意欲をもたせられるようにする。

③ その他

・児童の行動や姿勢などから思いやりによる行動を積極的に見付け、褒めることにより、具体的な行為として示す。

5年生

道徳教育の重点目標

誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にする。(親切・思いやり)

学年・学級づくりに広げる取組

① 道徳科の授業

・「思いやりの心」に関連のある道徳的価値を中心にして、感動や共感を大切にしながら、多様な人間の生き方や物の見方について考えさせる。そして、思いやりに関わる経験を豊かにし、自分の周りの人たちを大切にしようとする心を育てていく。

② 学級活動

・グループエンカウンターや、学級のみんががお互いを認め合う体験を通して、学級への所属意識や自己肯定感を高めていく。
・学年掲示板を使って、「感謝」や「友達のいいところ」など自分の思いを伝える機会を設け、学年全体として、友達を思いやる雰囲気を広げていく。

③ 異学年（ペア学年）交流

・たてわり活動やペア学年での交流など、他学年とのつながりを大切にし、自分たちができることを考え、進んで実行しようとする児童の育成を図る。

道徳教育の重点目標

互いに信頼し、学び合って、真の友情を築いていこうとする態度を育てること。(信頼・友情)

学年・学級づくりに広げる取組

① 学級活動

- ・友達や学級全体のことを考え、児童が自主的に内容を考えて積極的に活動できるような係活動を設定する。自分の取組に対する反応や様子を捉えさせながら、皆が楽しく安心して帰属できると感じる学級および学年づくりを図る。また、定期的にエンカウンターを行い、自己肯定感を高めたり、よりよい人間関係を築いたりする力を育てていく。

② 朝の会・帰りの会活動

- ・学校生活を振り返り、友達の頑張りや思いやりの行動などについてたたえ合う時間を設定する。それぞれの短所や長所を知り、よりよい自分へ成長していこうとする姿に気付かせながら、学び合い共に伸びようとする心情を育てていく。

③ 学校行事など

- ・学校のリーダーとして、縦割り活動や体育大会などを企画運営する中で、信頼できる仲間の存在の大切さや、助け合ったり協力したりすることの意義に気付かせていく。
- ・学年の掲示板を利用し、一人一人のその時々のおもひや決意、活動の振り返りなどを掲示して見合うことで、互いへの理解を深めさせていく。

4、5、6、7組

道徳教育の重点目標

よいことと悪いこととの区別をし、よいと思うことを進んで行うこと。(善悪の判断)

学年・学級づくりに広げる取組

① 自立活動「人間関係の形成」「コミュニケーション」

- ・相手意識が薄く、自分の思いを一方向的に話したり行動したりしてしまうことが多いので、人との関わりの中で、よいこと、悪いことを考えて行動できるようにする。

② 学級活動

- ・たてわりでの活動になるため、高学年は低学年の見本になるような行動を意識できるようにする。
- ・ゲームや製作を通して、ルールやマナーを守った行動ができるような活動を取り入れる。

③ 道徳科の授業

- ・写真やイラストを用いて、具体的な場面を示し、よいこと悪いことを判断できるようにする。